

SSKU

No. 81

落の会だより

八王子西局

料金別納
郵便



作者：ころぼっくる 高原良輔さん

低料第三種郵便

社会福祉法人 落の会

障害福祉サービス事業所

ひのき工房

就労継続支援（B型）

生活介護

戸吹不燃物処理事業

〒193-0826

八王子市元八王子町 2-1830-2

TEL 042(667)2158

FAX 042(667)2168

障害福祉サービス事業所

ふきのとう

生活介護

就労継続支援（B型）

〒193-0834

八王子市東浅川町 625-5

TEL 042(667)4158

FAX 042(667)9489

障害児通所支援事業所

地域生活支援事業所

ころぼっくる

放課後等デイサービス

認定短期・日中一時

〒193-0834

八王子市東浅川町 629-1

TEL 042(666)5609

FAX 042(666)5619

障害福祉サービス事業所

ぼぶら八王子

就労継続支援（A型）

就労継続支援（B型）

〒192-0001

八王子市戸吹町 2104

TEL 042(696)5090

FAX 042(696)5091

<目次>

1. 理事長あいさつ	2
2. 28年度事業報告と29年度事業計画	
1) 本部	3～5
2) ふきのとう	6, 7
トピックス	8
3) ころぼっくる	9, 10
トピックス	11
4) ぽぷら八王子	12, 13
トピックス	14
5) ひのき工房	15～17
トピックス	18
3. 28年度決算報告	19～21
4. 29年度予算書	22
5. 後援会だより	23
6. 薨の会への御寄附者名	24
7. 笹野さん、魚住さん安らかに 岩澤	25
8. 薨の会 新役員名簿	26

表紙 ころぼっくる利用者さんの書いた機関車

裏面 “ひのき工房”と“ふきのとう”の木工製品写真

中長期計画と子供食堂の実現

理事長 岩澤六夫

利用者・御家族の皆さん、そしていつも露の会各施設の活動に支援をいただいている地域社会の皆様、今年も更なる御理解と御協力をお願い申し上げます。

露の会はこの数年、新しい事業に積極的に取り組み、利用者の働く選択の中を広げ工賃の大幅アップを実現する（就労継続 B）と共に、最低賃金（940 円）以上で雇用契約を結ぶ一般就労（戸吹不燃物処理）事業所と就労継続支援 A 型事業所（ぼぷら八王子）を開設することが出来ました。

又なかなか入れるところのない障がいの重い児童の放課後等デイ事業（ころぼっくる）も立上げ、御家族の皆さんから喜ばれています。

その結果、利用者も支援スタッフも 100 名を超え事業規模も 3 億円（うち約 1 億円は就労支援事業の収入）を超えることになりました。

平成 2 年有志でふきのとうを開設してから 27 年、社会福祉法人の認可（平成 13 年 9 月）をいただいてから 15 年、ようやく小なりと言えども障害を持つ利用者や地域社会に対して一定の役割と責任を果たせる法人に成長することができました。ここまで来るのに三田町会の笹野さん、元八王子二丁目町会の魚住さんをはじめ多くの地域の方々に助けられ、支えられてきたことを忘れてはなりません。

一方、社会福祉法人改革に沿って、新たな評議員にも参加していただき、H29 年度より新しい体制で再出発することになりました。

今までは、毎年 1 年間の事業方針と予算を決めて事業を進めるのがやっとでしたが、今後は少なくとも 5 年先、出来れば 10 年先を展望しながら法人運営を進めるべく努力したいと思います。昨年 1 年かけて H29 年から H33 年の 5 ヶ年中長期事業計画を策定しました。まだまだ不十分なものですが施設運営に責任を持つべき正規職員はもとより、全ての支援スタッフが、利用者・家族や地域社会の要請に応じていくために、研修に参加し、その力量を上げながら、より豊かな内容に仕上げてもらいたいと思います。

各施設・事業所の課題は以下の通りです。

「ふきのとう」

- ・利用の少ないスペースを活動スペースに変更、トイレも増設し、日々の活動がよりやりやすくなるよう改修工事を行う（出来れば 2 年以内）

「ころぼっくる」

- ・スタッフとその支援資質を充実し、新施設建設を検討する。（出来れば 5 年以内）

「ひのき工房」

- ・利用者が調理実習できる作業場を作り、あわせて地域社会のための「子供食堂」を実現する。（1 年以内）

- ・利用者の工賃月 40,000 円達成（週 4、5 日利用 B 型、3 年以内）

「とぶきふねん」

- ・安心して気持ち良く働き続けられる職場一労災ゼロ
- ・独立した事業所として運営できる体制の確立(4年以内)
「ぼぷら八王子」
- ・型替え調整と品質管理の力量をつけ、お客様の要請に100%自前で対応できる施設にする(2年以内)
「本部」
- ・病欠すると大きな支障の出る現状を少なくとも2人体制にする。
- ・町会、小・中学校、企業、施設など地域の皆さんが協力しあって子供達の健全育成に寄与する「子供食堂」を法人の地域貢献事業として開設し定着させる。
- ・露の会の全ての施設が地域住民に有難く思われる存在になるように指導する。

これら各施設の課題を実現するために必要なこと。

- 1つ 施設長の「必ず実現する」という信念のある決意。
- 2つ 「自分の課題として全面的に支える」スタッフの協力。
- 3つ いずれの課題にも資金が必要。公的な補助金、民間の助成金等事前交渉から具体的な計画書を自分達の手で作る。
- 4つ 助成金だけでは不足で必ず自己資金が必要です。それは年度予算書だけでなく、毎月の月次決算書を把握しながら計画的に確実に貯える必要があります。

それぞれの施設が利用者のために施設長を中心に本部とも相談しながら全スタッフが協力して課題を必ず実現させましょう。

平成28年度 法人本部 事業報告

社会福祉法人 露の会 法人本部

1) 経営中長期計画の策定 (H29～H33)

法人経営の将来構想について、正規職員研修や施設長会、理事会での検討を行い、H29年度からの5ヶ年計画を策定することが出来ました。

2) 人材育成のための職員教育と施設間交流

階層別にテーマを絞りより深い議論を通じて、人材育成と交流を計ることが出来ました。また、毎回事前レポートと報告の提出を求め少しずつ文章力もついています。特に正規職員研修では、予算、中長期計画の策定に参画させることにより、施設運営の理解を深めることが出来ました。反面、労災を発生させたことは日常の指導が不十分だったという反省のもと、来年度の検討課題です。

3) 賃金水準の改善

今年度も職員の賃金を平均で2%アップすることが出来ました。

4) 各施設の指導

ぼぷら八王子施設長の引継ぎは、ひのき工房の協力を得て本部で行いました。

ふきのとう施設長については、基本的なものは本部で行いましたが、行政への提出書類等の理解が不十分なようですから、その都度ひのき工房の指導をお願いします。職員研修会を通じ、利用者工賃や賃金の増額分に対応した売上額の試算をし、実感してもらうことができました。

5) 給与・会計業務の効率化(ほのぼの給与、財務ソフト)

給与・会計処理の増加に対応し、作業のマニュアル化、ルーチン化を行い、現状人員での処理に結びつけた。

①給与・財務ソフトのマニュアル作成により、効率的に業務を推進。

特に、年末調整及び決算処理の迅速化が図られた。

②H28年度の消費税の毎月の管理、集計を迅速に行った。

③ぼぷら八王子の経理処理の立ち上げ及び毎月の経理処置の支援を実施。

6) パンフレットのリニューアルと作成内製化

8月に“ぼぷら八王子”を含めパンフレットをリニューアルし、約1000部内製化し配布することができた。

7) 地域になくてはならない施設を目指して

ひのき工房は町会をはじめ小中学校の運営にも関わり、地域住民と日常的な交流が出来るようになりましたが、他の施設は今年度もあまり進展はありませんでした。1つずつ具体的な指導が必要だと思われます。

8) 社会福祉法人改革

4月からの社会福祉法人改革に対応すべく、都・市の説明会に参加し、市の具体的な指導も受け、定款の変更認可、規程類の新設等計画通り進めることができました。

地域貢献については色々検討してきましたが、H29年度より子供食堂の実現に向け取り組むことにしました。

9) ふきのとう減算について

施設内の報連相がうまく機能せず、25百万の減産を引き起こしたことは大きな反省です。今後は重要書類の提出等施設長会で「いつまで〇〇を」と新人施設長への指導を徹底します。

平成29年度 法人本部 事業計画

社会福祉法人 落の会 法人本部

1) 経営中長期計画の策定(H29~H33)の初年度

毎月の事業検討会で、月次を点検し、問題があれば具体的な改善を指示し、少なくとも正規職員が自らの課題として取り組む体制を検討します。

2) 人材育成のための職員教育と施設間交流

・今年度も継続してテーマを絞りより深い議論を通じて、人材育成と交流を

計り、より幅の広い知識や技術の習得とその実施に結びつけていきます。

- ・ 正規職員については、研修を通じて担当部門の給付費や売上を把握できるようにしていきます。更に、新規事業開拓についても議論していきます。
- ・ 職員研修を通じて、全階層で報連相の重要性を再認識してもらいます。
- ・ 職場での労災ゼロをめざし、ヒヤリハットの提出を義務付けて教育を行います。

3) 賃金水準の改善

意欲のあるスタッフが、仕事に対してやりがいをもてるようにキャリアパスの構築を図り、賃金を含めた労働条件の改善を進めて行くために、処遇改善助成金の継続取得は勿論、事業収入の増加と経費の削減を進め、賃金水準の向上を計ります。

4) 各施設の指導

- ・ ふきのとうは、減産により利用者支援に支障がでないように、施設長、スタッフの指導支援をしていきます。
- ・ 各施設と本部間の報連相を徹底し、問題が発生しないようにします。

5) 法人内の業務効率化

- ・ 規程類の整備促進の継続。
- ・ H28年度の処遇改善実績額の提供とH29年度予算額の提供を行いデータの共通化と効率化を行います。
- ・ 消費税の本則課税適用に対応できるよう各施設への指導支援を行います。
- ・ 給与、会計システムのマニュアル化を継続し、対応の迅速処理に結びつけます。
- ・ 施設会計処理のノウハウをマニュアル化していきます。

6) 外部への情報発信

- ・ 法人のホームページへの掲載情報を若い世代へもアピール出来るように再構築し、また、後援会員の掘り起こしにも協力していきます。
- ・ 露の会だよりの定期刊行を行い、露の会各施設への継続した支援をお願いします。

7) 社会福祉法人改革

社会福祉法人改革による新評議員会、運営協議会の発足等新しい法人運営の確立、定着化を進めていきます。

8) 地域になくってはならない施設を目指して

- ①各施設の施設長と職員にひのき工房の地域活動の取り組みと現状を理解してもらい、まず、それぞれの施設を地域社会に認知していただくため、盆踊りなど行事への参加、清掃協力、施設周辺の雪かき、除草を行い、町会役員に施設を見学してもらうなど、基本的なことから始めていきます。
- ②地元の城山小と城山中が一貫校となり、その学校運営協議会の委員に推薦されたため本部としても“子供食堂”など地域貢献事業としての取組を始めていきます。

平成28年度 ふきのとう 事業報告

ふきのとう施設長 江川 修己

1. 総括

28年度は、ふきのとうは安定的で利用者の生活の質の向上、職員のスキルアップの向上に努めた。木工作业をベースに利用者の作業の幅を広げ更には技術を向上し、潜在能力を引き出しながら作業を行った。その中で、ADLの維持・向上やクラブ活動・余暇活動にも力を注ぎワークライフバランスを重視し、ふきのとうに見合った活動を行った。

12月には、サービス管理者の資格要件である相談支援初任者研修の未受講による、2,500万円の減算を受け利用者・家族、その他の方に多大な心配を掛けました。来年度は、こうした状況を改善し、利用者・家族、また法人本部と密に報連相を徹底し、サービスの低下ではなくサービスの向上を図り、利用者が安心して利用できる施設にしていかなければと考えています。

2. 生産販売活動

木工事業	その他収入	合計
1,780,699 円	206,213 円	1,986,912 円
前年比 302,516 円増	前年比 143,012 円減	前年比 159,504 円増

- (1) 木工事業：毎月のおもちゃ美術館 APTY の注文に加えて、八王子市の「はちベビギフト」、東京都の「KURUMIRU」の定期的な受注先が増えた。また、「きりんの輪投げ」が八王子市のふるさと納税返礼品に選定された。個人を含む全国各地からの注文も増えた。
- (2) リサイクル活動：協力して下さる方は増えたものの月2回の活動や回収件数が少ない為、収入が伸びなかった。今後は協力者を増やすなどの改善が必要である。
- (3) 出店：例年通り福祉まつり、いちょう祭り、片倉高校文化祭、わくわくビレッジフェスティバル、ふれあいフレンドフェスティバル、手作り作品展等に出店。利用者自身で販売した。

3. 利用者支援の充実

- (1) 利用者主体
- (2) 個人の障がいにだけにとわれないこと、活動や周囲の環境などからの視点で、利用者のライフスタイルにより司会支援を行った。
- (3) 職員ひとりひとりが、利用者のストロングを見出し、その能力を発揮できるよう、利用時からかわりを持ち、心身状況の把握に努めた。
- (4) クラブ活動：①ハンドベルクラブによる近隣の高齢者施設、福祉まつりなどでの外部演奏、②障がい者運動の会によるきょうされん全国大会・熊本大会への参加、③月2回の絵画教室
- (4) 毎日の口腔ケアに加え、歯科衛生士による口腔ケアを体制化(月一回実施)

平成29年度 ふきのとう 事業計画

ふきのとう施設長 清水 潤児

1. 事業方針

- (1) 薔の会の理念に基づき、利用者の社会参加の場としての役割を忘れずに、安心して楽しく過ごせる施設であると共に、地域で自立した生活ができるようにサポートしていきます。
- (2) 利用者が主体的に活動できる体制、個別化の原則を守り、仕事と生活のバランスを考慮しながら、ふきのとうに見合った活動をしていきます。
- (3) 施設環境を整え、ソフトとハードの両方に目を向け、受け入れ態勢の支援環境を整備していきます。
- (4) 地域に開かれた施設を目指す。地域の行事や日常的に施設周辺の掃除を行い、近隣の方々との交流を図り、ふきのとうの活動を気軽に見てもらえるような環境づくりをします。

2. 生活支援

- (1) 作業・クラブ活動・余暇活動など仕事だけに捉われるのではなく、個別を重視した支援計画を立て、心身状態の安定を図り自宅での生活につなげていく。
- (2) 利用者への支援を充実にする。ADLの維持・向上へ向けた支援、時間がかかっても本人の想いを尊重し、生活の質を高めていく。月に1回利用者のケース会議を開催し、利用者の状態や職員間での情報交換などアセスメントを行い、最適により近い支援方法を検討していく。
- (3) クラブ活動・余暇活動の立ち上げ等は利用者発信をベースに、また職員側からも情報を提供しながら進めていく

3. 生産活動

事業別年間売り上げ目標

木工事業	リサイクル	仕入れ品販売	合計
180万円	8万円	12万円	200万円

- (1) 八王子市の赤ちゃんが喜んで頂くよう木工品づくりをしていく。
- (2) 木工事業：はちベビギフト、KURUMIRU、おもちゃ美術館の委託販売を中心に利用者と職員が一丸となって、納期を守りふきのとうの信頼を厚くしていく。
- (3) リサイクル：リサイクルを通して地域との交流を図り、地域に根差した施設にしていく。

4. 職員体制

- (1) 職員個々のスキルアップを図り、チームアプローチができるチームを形成していく。
- (2) 法人内外研修などに参加しやすいような環境を整え、また本部との報告連絡相談を密にし、連携を強化していく。自己啓発の機会を増やす。

ふきのとう トピックス

お花見



「きりんの輪投げ」が八王子市のふるさと納税返礼品に選定



運動会



料理教室

「KURUMIRU」に「カラー積み木」と「積み木トラック(大・小、無地・色付き)」が採用



New 財団号



忘年会



平成28年度 ころぼっくる 事業報告

ころぼっくる施設長 秦 淳一郎

<28年度総括>

- ・28年度は、新規事業「放課後等デイサービス」が2年目を迎え、保育の質の向上に職員一丸となって、取り組みました。利用登録者数も月ごとに増加。また、毎日、出勤できる職員を雇用できる事業となる中、継続的な職員指導、打ち合わせが行える環境となり、支援、保育の質がころぼっくる全体として、向上してきました。日中一時支援は、放課後デイが市内に多く立ち上がる中、利用率は横ばいで推移しているものの、放課後デイでは対応できない時間の受け皿や学童期の宿泊先の確保、グループホームへの足がかりとしてのニーズが増えつつあります。
- ・設備備品については、施設が開所し10年が過ぎる中で、電話機や温水器の電子パネル、椅子と日常使う備品の故障、破損が見られたため、修理買換えを行い、施設として、安心して利用できる環境が整備されました。また、大規模修繕については、建物壁面の劣化が見られたため、29年度には、修繕にとりかかれるよう補助金申請を行いました。
- ・研修については、内部研修、外部研修に参加したで終わらすのではなく、現場に学んだことを他の職員に伝えていく力をつけていくよう、報告文の書き方、職員ミーティングでの発表の仕方の指導に重点を置き、文章で伝える力、言葉で伝える力を身につけていく場を増やしていきました。また、職員教育において、業務においては、絶えずOJTの意識をもってとりくむ必要性を伝えていく中で、職員の業務にあたる意識レベルの向上が見られました。
- ・関係機関の連携については、利用者の状況を支援学校、支援学級、作業所と共有し、制度上に関わる事柄については、八王子障害者団体連絡協議会と連携し、八王子市福祉課、八王子市市会議員に、現場の状況、制度上における矛盾点等を伝えていきました。

<28年度実績>

① 放課後等デイサービス事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	147	149	148	148	182	163	165	157	141	163	186	208	1957
人数	24	24	24	27	27	27	30	31	32	31	33	33	343

② 認定短期入所事業 (八王子市在住の方を対象とする) 月当たりの支給量 5日/月

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	78	66	59	61	74	77	66	68	64	49	65	79	806
人数	28	26	20	22	27	24	24	21	26	17	23	30	288

③ 日中一時支援事業 (八王子市・日野市在住の方を対象) 月当たり支給量56時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間	486	464	424	463	488	438	527	459	412	397	443	497	5498
回数	121	109	106	120	138	111	125	113	104	106	114	130	1397
人数	38	34	21	34	37	30	36	33	34	31	34	36	398

平成29年度 ころぼっくる 事業計画

ころぼっくる施設長 秦 淳一郎

事業所名	ころぼっくる
事業名	障害児通所事業 (1) 放課後等デイサービス 地域生活支援事業 (1) 認定短期入所事業 (2) 日中一時支援事業
職員数	施設長 (1) 常勤職員 (2) 非常勤職員 (2 1)

1. 事業内容・事業目的

障害児通所事業

- ・放課後等デイサービス (八王子市在住の方を対象とする)
1人ひとりの個性と集団で育まれる生活力を大事にし、継続性による変化を大切に捉え、ライフステージに必要な活動を取り入れ、様々な体験を通して、個々の感性を育むことを目的とする。

地域生活支援事業

- ・認定短期入所事業 (八王子市在住の方を対象とする)
- ・日中一時支援事業 (八王子市・日野市在住の方を対象とする)
障害児(者)の日中活動及び宿泊の場を確保し、日常的に介助している家族の就労支援及び一時的な休息時間の確保を目的とする。及び障害児(者)の緊急一時保護を目的とする。

2. 事業運営方針

障害のある方が、住み慣れた地域でいきがいをもち、自分らしく生きることを確立できるように支援する。

- (1) 利用者とその家族が安心して利用できる環境を作る。
- (2) 利用中、一人ひとりの持つ能力を活かした生活ができるように支援する。
- (3) 地域の人たちと交流の機会を持ち、相互理解の場を持つ。

3. 具体的な取り組み

平成29年度も、これまでの事業継続とともに、関係機関との連携を強化し、よりよい支援に向け内外の研修を通して、信頼と安心のサービス向上に取り組みます。

- ① 「利用者とその家族支援」
- ② 「関係機関との連携」
- ③ 「より質の高い職員集団を目指す」
- ④ 「地域との連携及び交流の継続」
- ⑤ 「環境衛生及び整備の徹底」
- ⑥ 「定期的な防災訓練の実施」

ころぼっくる トピックス

■放課後等デイサービス事業

ころぼっくるの既存事業である「認定短期入所事業」と「日中一時支援事業」の併用利用も増えている『放課後等デイサービス』は、卒所されたご利用者の方や、新しく利用されるご利用者の方がいらっしやいました。寂しさを感じる一方、今年度はどのような関係性が生まれ、育まれるのか楽しみです。

■認定短期入所・日中一時支援事業

ころぼっくるの各事業とも、外出活動、造形活動、音楽活動を軸に、1人1人の思いを大切にしながら、自分らしく過ごし、楽しめるようなサービスを提供しています。

◆音楽活動

ご利用の方が大好きな童謡や、昭和の歌謡曲、70年代のアニメ・特撮ソングと、幅広く歌われています。職員が知らない曲も多数あります。時には、曲のサビ部分が頭の中をぐるぐると駆け巡ることもあり、悩まされることもあります。

◆外出活動

雨天時には体育館やわくわくビレッジ、晴天時は城山公園やつどいの森、わくわくビレッジ、殿入中央公園で身体を動かして遊んでいます。

◆造形活動

ころぼっくる近くの南浅川沿いや陵南公園に沢山咲いた桜や春の花をイメージでして、ころぼっくるにも沢山の桜や花を作り、フロアに飾ってみました。いつもより部屋が明るくなり、とても心地良い空間になりました。



最後に、ころぼっくるは、学童期～成人の方、また、他事業所をご利用の方々が触合う機会があり、他の施設ではみられない交流が生まれています。

今後もこの交流を大切に、ころぼっくるの魅力を更に高めたいと思います。

平成28年度 ぼぷら八王子 事業報告

ぼぷら八王子施設長 木原 法子

1. 28年度総括

①平成27年12月に開設して4か月を経て、A型メンバー11名、B型メンバー4名でスタートしました。目標は「1日35000個、1ヶ月(20日稼働)70万個としました。

12月までは目標の70万個をコンスタントに生産することができました。良品効率99%を2ヶ月達成することができました。しかし、1月から3月までは生産の伸び悩みもあり、目標を達成する事が難しい状況が見えてきました。それは、これからの課題と考えて対応していかなければなりません。

②メンバーの状況としては、定員に達していないB型のメンバーの利用が増えて、11月にはA型10名、B型7名の17名になりました。メンバーの殆どは、休みもなく元気に通所しています。残念なことに、メンバー2名が腰の具合が悪く、ぼぷら八王子を退所しました。このような状況になったのは、メンバーの体調不良もありますが、スタッフの支援が未熟な面も考えられます。サービス管理責任者が三度交替し、施設長も交代してしまっている現状にも、ぼぷら八王子の抱える問題点があります。そのような状況ではありましたが、1月にはA型メンバー1名が一般就労に進みました。

そのほかのメンバーの活動としては、4月のお花見と月一回の練習日を設けているフロアホッケーがありました。お花見では、ぼぷら八王子でも生産している「ほっともっと」のお弁当をメンバー・スタッフみんなで頂き、レクなどもして楽しい一日を過ごすことができました。フロアホッケーでは、全国大会に出場し、「一般の部」で見事、優勝することができました。

③地域交流に関しては、今年度は、地域とのつながりを作ることができていません。災害時には、避難場所に避難しなければならぬことも、あるかもしれません。また、戸吹地域には、ぼぷら八王子以外に障害をもった方が働いている所や、入所施設があります。そのような所と連携し、町会にも入会する必要があると感じています。

④最後にぼぷら八王子では、生産数だけでなく災害ゼロ、クレームゼロを目指していますメンバーにもヒヤリハット報告を出してもらったり、危険予知トレーニングを行ったりして日々頑張ってきました。

2 収支報告

【就労支援事業】

年間出荷数	8,529,480 個
年間売上(加工費)	30,399,062 円
労務費	28,840,299 円
その他の費用	1,611,094 円
収支	▲52,331 円

・就労支援事業の「年間売上」は出荷数に対して1個当たり3.3円の加工費に消費税を加えた金額になっています。

・「労務費」はメンバーの賃金、工賃、福利厚生費等になります。

【福祉事業】

給付費収入	30,612,581 円
管理費収入	5,216,000 円
その他の収入	1,383,121 円
収入計	37,211,702 円
職員労務費等支出	26,445,361 円
諸経費支出	5,533,385 円
支出計	35,421,240 円
収支	1,790,462 円

・福祉事業の「管理費収入」は(株)エフピコ様から管理費として支払われているものです。

平成29年度 ぽぷら八王子 事業計画

ぽぷら八王子施設長 木原 法子

I. 基本方針

1. ぽぷら八王子に働く、全てのメンバー、スタッフがお互いを人格を持ったひとりの人間として認め合うことを基本とします。
2. スタッフはメンバーの立場に立った支援に心がけ、毎日気持ちよく、笑顔で安心して、意欲を持って働き続けられる職場作りに努めます。

II. 事業運営方針

1) 品質第一の生産体制を確立します。

- ・徹底した品質管理を行い、お客様は勿論(株)エフピコ様に絶対にご迷惑をかけない体制を作ります。
- ・そのため、工場長・主任による設備保守・品質向上のためのスタッフ教育に努めます。
- ・1日36,000ヶ、月720,000ヶの生産達成に努めます。

2) 安心して、気持ちよく、意欲を持って働き続けられる職場を創ります

- ・障害福祉サービス事業、基本的人権、虐待等について法人本部による職員教育を行いメンバーの不安や悩みを把握し、定期的に支援会義でスタッフの共通認識とし、スタッフの声掛けや面談で解決するような体制を作ります。
- ・毎日の連絡帳や見学会(祝日)で家族や支援機関との信頼関係を作ります。
- ・旅行やフロアホッケー等楽しみの場を作ります。

3) 安全対策と健康管理

- ・まず職場の安全や災害時の避難対策等ルール作りを行い、事故のない職場作りを進めます。
- ・感染症防止対策や定期健康診断を行います。

4) 職員研修に努めます

- ・職員会議と支援会議を定期的に関き、法人や事業所の役割を理解し、事業方針の具体的実施とサビ管を中心とした日々のメンバー支援の充実をはかります。
- ・法人本部主催の階層別研修会に参加し、職員の資質向上と交流をはかります。

5) 地域との連携交流

- ・地元戸吹町会のお祭りや防災避難訓練等に参加し、地域住民との交流を模索します。
- ・戸吹町内にある障害者施設との交流の機会を作るよう模索します。

ぽぷら八王子 トピックス フロアホッケー全国大会で優勝!



1年間で3大会に出場。全日本フロアホッケー競技大会「一般の部」にて、優勝!

新送迎車 ハイエース



森村豊明会様の助成事業を受けて10人乗りの新送迎車を購入できました!

避難訓練及び消火訓練



8月と3月に避難訓練・消火訓練を実施。一人ひとり、水消火器で放水!

平成28年度 ひのき工房 事業報告

ひのき工房施設長 関 裕子

【28年度の成果】

1. 利用者さん活躍！新しい作業にもチャレンジし、力を合わせ成し遂げる！

新しく4件の仕事の契約を結び、新作業も始め、利用者の作業選択の幅が広がるとともに大幅な売上増と利用者工賃アップに繋がった。(はちベビギフト・霊園清掃2件他)

就労B:週4～5日利用の利用者平均月額工賃(含ボーナス)32,793円 前年比2,790円アップ

1) 木工:八王子市から初めての大口注文をいただき、これを完遂することに注力。はちベビギフト用木工品毎月200個製作は、利用者・職員スタッフが協力し成し遂げた。

販売都内進出の夢のような機会を得ることができ、「kurumiru」新宿都庁売店、3月には伊勢丹立川店、丸井錦糸町店の委託販売が実現。

2) 生産活動売上 1,500万円を達成 (前年比約284万円増)

木工	リサイクル	薪割・発泡減容	農園	霊園清掃	その他	合計
463万円	530万円	164万円	40万円	188万円	121万円	1,506万円

3) 繁忙の1年の中、利用者さんの希望も取り入れ「生活の中で楽しみを増やす」レクを企画、実施。一泊旅行・花火会・紅葉狩り・クリスマス会・食事会・カラオケ会4回・ゲーム会3回・お菓子作り・手話会(月2回)・お話し会(週1回)・近隣の方のご厚意のアロマ体験等

4) 3月にゆうきのつばさアート展が幕張メッセで開かれ、本宮政吾さんの彫刻・焼きペン画、今井隆さんの絵画が入選・展示され、有名人の写真付応援メッセージを頂いた。29年のカレンダーを3名の利用者さんで製作販売し好評。

5) 6月には、手話コーラスでクリエイトホールでのマルベリー・ハートフルフェスタに出演。初めての大舞台に緊張したが、みんなで一つになって成し遂げた達成感や喜びを利用者さんと職員で共有することができ、大変良い経験になった。

2. 地元町会・学校・住民の皆さんと交流、協力関係はさらに深まる

1) 5月の2丁目町会野球試合では40名以上の先生・中学生・町会等の方、11月のひのき工房祭では500名以上の地元の方が参加、城山中学校アンサンブル演奏、元八小学校ダンスクラブも出演し交流が広がった。

2) 東急スクウェアで利用者さん初のアート展を開催し大好評。3日間を通し、懐かしいボランティアさん、就労した利用者さん、ご家族の方など192名が来場、改めて多くの方々に支えられてきたことを実感し感謝するイベントとなった。

3. 利用者作業場兼「子供食堂」の実現を検討

利用者のクッキー作り等の調理室付作業場として、また夕方からは「子供食堂」として隣家の改装を検討。当施設建設時から応援していただき、地域の子供たちのために活動してきた故魚住様の熱い想いを受け継ぎ、地域の子供たちのために役立てていただける地域貢献の一つとして取り組む予定。

平成29年度 ひのき工房 事業計画

ひのき工房施設長 関 裕子

1. 事業方針

- 1) 私たちは、利用者の立場に立った支援を行い、利用者が**主体性**をもっていきいきと働き、心地よく**笑顔で過ごせる**よう支援する
- 2) 毎年工賃アップを図り、週3日以上通所の利用者工賃**平均月額3万円**の実現をめざす(就B)
- 3) この地域で障害のある人たちが自分らしく自立し、障害のある人もない人も**共に手をたずさえて**生きていけるように、地元住民・町会・小中学校・福祉施設・病院等との**地域交流**をさらに進める
- 4) 職員スタッフは、協力し合い、連携し、**一致団結した職員チーム**をめざす

2. 生産活動 ーやりがいと利用者工賃アップのため年間売上1,700万円以上をめざす！

- 1) 事業別年間売上目標

木工	リサイクル	霊園清掃	薪割	農園	その他	合計
480万円	520万円	510万円	80万円	42万円	68万円	1,700万円

- 2) 木工：「kurumiru」新宿都庁売店・伊勢丹立川店・錦糸町丸井店の**新製品開発**に注力
- 3) リサイクル、薪割：利用者・職員協力し、回収・薪作りに**安全第一**で取り組む
- 4) 霊園清掃作業：利用者・職員連携して責任持って取り組み、来年に繋げる
- 5) 生活介護室内作業：その人に合った作業を見つけ、切手の仕分け・貼り付け作業、栄太郎館の袋・箱詰作業を中心に行い、パソコン作業、野菜販売、清掃作業も行う
- 6) クッキー作り等調理もできる作業室を作り、作った製品は販売に繋げられるようにする

3. 利用者さんが元気で働けるように個別支援・健康管理の充実をめざす！

- 1) 兼務ではない専従のサービス管理責任者を配置し、利用者個別支援に力を入れる
- 2) 八王子保健生活協同組合城山病院の嘱託医による月1回の訪問相談を継続実施
- 3) 理学療法士によるリハビリでは、1名増員し週1回のリハビリを実施(月4回)
- 4) 医師の指導にもとづいた歩行リハビリ等を職員が付添い安全に実施(毎通所日)

4. 創作活動に力を入れ、生活の中で楽しみを増やす！

- 1) 絵画、彫刻、木工等の作品など発表の機会には積極的に応募、カレンダー製作・販売
- 2) 1年を通し利用者の皆さんが楽しめる行事を企画する(旅行・日帰り旅行・ゲーム大会・カラオケ会・アジサイ園散策・花火会・紅葉狩り・クリスマス会・祭り・食事会等)
- 3) 昼休みを一緒に楽しく過ごす(将棋・ウノ・トランプ・ゲーム・卓球・散歩・談話等)

5. 地域交流を大切にし、町会・小中学校等地域と連携、「子供食堂」を実現する！

- 1) 元八2丁目・3丁目町会集団回収、城山小学校の木工教室・サタデースクール・城山中学校の社会科体験実習等に積極的に協力、はちせい祭り、町会夏祭り、町会合同防災訓練等にも積極的に参加、**第9回ひのき工房祭**を実施[10月28日(土)予定]
- 2) 地域貢献の一つとして、地域の子供たちのため隣家を改修し「**子供食堂**」を実現する

平成29年度 戸吹不燃物処理事業

ひのき工房施設長 関 裕子

28年度総括

- 1) 27年から行っていたコンベアの前頭で可燃物を除去する作業を28年度予算で認めていただき、メンバー枠も増やすことができた。
- 2) 年間を通し、職場実習を受け入れ、希望者は採用してきた。職員は明るい雰囲気で見守りの良い職場になるよう努力してきた。
- 3) しかし、残念ながら労災事故を2件も出し、市や法人に迷惑をかけてしまった。
- 4) 29年度から廃蛍光灯等有害ごみの整理等の業務もいただいた。
- 5) 初めて実施された「戸吹クリーンフェスタ」には、法人の活動紹介展示とホットドックの販売、木工品展示販売も行い参加者も多く盛況だった。

29年度事業計画

今年度は、特に安全第一を徹底し、永続的に受託し続けられるよう努力していく。

1) 受託業務を質、量ともに100%完遂する

- ① メタウォーター(株)様は勿論、他の業者さんの仕事もお手伝いして、良好な協力関係を築く。
- ② 業務分担、責任、報連相等を検討し、日々実践していけるよう指導していく。
- ③ 新しい蛍光管等有害ごみの整理業務やフォークリフトの運転作業も含めマニュアルを作って安全作業を徹底する。

2) 労災ゼロを実現する

- ① 八王子市の工場での「労災ゼロ」は至上命題である。ヒヤリハットが多い職場はいつか必ず大きな労災事故が発生する。今年度は、日々ヒヤリハット報告とその改善策を提出することをスタッフに義務付け「絶対に事故を起こさない」意識を持ち続ける。
- ② 職場の5S(整理、整頓、清潔、清掃、安全)の徹底を図るため朝昼礼で唱和し、問題個所を捜し作業環境の改善と安全のためのルール作りをすすめる。
- ③ やむなく事故を発生させてしまった場合に備え、その対処方法(家族、支援機関を含めた緊急連絡体制、病院連絡先、肝炎予防ワクチン等)をあらかじめ準備しておく。

3) 障害者にとってより良い就労の場を創る

- ① 戸吹は、障害のある人たちの就労の場として蒔の会が八王子市から委託をいただいた。従って、「障害のあるメンバーがいかに安全で安心して、しかも気持ちよく働き続けられる職場を作っていくか」が蒔の会の最大の課題である。
- ② メンバーの日々の状況、気になる会話や出来事など支援スタッフが把握し、支援日誌に記録し管理者に報告する。重要と思われることは即電話等で報告し、管理者と相談して対応を決める。また、情報を共有し、話し合ってスムーズに対処する。
- ③ 就労を希望する障害者の見学や就労体験実習の場としても受け入れていく。

ひのき工房 トピックス

本宮さんの焼ペン画



彫刻アート



今井さんの絵画2点

勇気の翼 インクルージョン (幕張メッセ)

二人の作品が高橋愛さん (元モー娘。) から称賛を受ける (3月)

KURUMIRUで大人気!!



ひのきつるつるにぎり車 (車&うさぎ)

「はちペビ」も大好評!!



ひのきのにぎにぎパズル
(ヒヨコ&きりん)



一泊旅行 IN 河口湖 (4月)



富士河口湖と満開のさくら 最高でした♪

H28 年度決算報告

事業活動内訳表

(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		本部	ひのき工員	ほのき八王子	ふきのとう	こもほつくる	合計
サービス活動増減の部	取	085 就労支援事業収益		67,415,544	30,399,062	1,986,912	99,801,518
		01 木工事業収益		4,628,030		1,780,699	6,408,729
		02 農産品事業収益		403,604			403,604
		03 リサイクル事業収益		5,298,775		105,395	5,404,170
		04 仕入品販売事業収益		664,467		100,818	765,285
		05 生活介護事業収益		348,700			348,700
		06 薪割事業収益		931,980			931,980
		07 不燃物処理事業収益		52,350,840			52,350,840
		08 発泡事業収益		712,248			712,248
		09 食品容器製造事業収益			30,399,062		30,399,062
		10 その他事業収益		199,900			199,900
		11 霊園清掃事業収益		1,877,000			1,877,000
		086 障害福祉サービス等事業収益		94,100,127	37,211,702	41,347,053	42,740,667
		01 自立支援給付費収益		71,294,215	24,599,981	37,125,788	133,019,984
		02 障害児施設給付費収益					22,353,087
		03 利用者負担金収益		179,910	45,521	106,265	350,020
		05 特定費用収益		1,725,180	1,337,600	200,000	133,200
		06 その他の事業収益		20,900,822	11,228,600	3,915,000	19,904,360
		091 経常経費寄附金収益	321,361	95,600		16,600	36,079
		01 寄附金収益	321,361	89,000		13,000	32,479
		02 助成金収益		6,600		3,600	3,600
		サービス活動収益計(1)	321,361	161,611,271	67,610,764	43,350,565	42,776,746
		費					
		021 人件費	6,688,270	60,833,238	26,445,361	31,153,522	33,075,284
	022 事業費		12,181,776	3,820,879	5,658,000	4,154,683	
	023 事務費	1,938,391	6,344,712	1,712,506	3,521,211	3,501,500	
	024 就労支援事業費用		66,307,388	30,451,393	1,989,452	98,748,233	
	01 就労支援事業販売原価		66,307,388	30,451,393	1,989,452	98,748,233	
	028 減価償却費	140,400	10,911,119	479,761	1,287,725	2,599,081	
	029 国庫補助金等特別積立金取崩額		△7,423,405		△838,662	△1,821,861	
	サービス活動費用計(2)	8,767,061	149,154,828	62,909,900	42,771,248	41,508,687	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△8,445,700	12,456,443	4,700,864	579,317	1,268,059	
サービス活動外増減の部	取	094 受取利息配当金収益	100	202	950	101	87
		099 その他のサービス活動外収益	15,791	5,124,877	575,491	18,000	143,763
		02 利用者等外給食収益		2,242,400	321,300		
		04 雑収益	15,791	2,882,477	254,191	18,000	143,763
		サービス活動外収益計(4)	15,891	5,125,079	576,441	18,101	143,850
		費					
		033 支払利息			200,285		57,434
		038 その他のサービス活動外費用		753,188		10,000	5,000
		01 利用者等外給食費		752,327			752,327
		03 雑損失		861		10,000	5,000
	サービス活動外費用計(5)		753,188	200,285	10,000	62,434	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	15,891	4,371,891	376,156	8,101	81,416	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△8,429,809	16,828,334	5,077,020	587,418	1,349,475	
特別増減の部	取	100 施設整備等補助金収益	19,370,000		2,000,000	2,100,000	23,470,000
		02 設備整備等補助金収益			2,000,000	2,100,000	4,100,000
		03 設備資金借入金元金償還補助金収益	19,370,000				19,370,000
		105 保険料収益				109,740	109,740
		特別収益計(8)	19,370,000		2,000,000	2,100,000	109,740
		費	043 国庫補助金等特別積立金積立額	19,370,000		2,100,000	
	特別費用計(9)	19,370,000		2,100,000		21,470,000	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)			2,000,000		109,740	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△8,429,809	16,828,334	7,077,020	587,418	1,459,215	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	5,174,069	38,308,586	△1,211,975	23,391,979	2,596,965
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	△3,255,740	55,136,920	5,865,145	23,979,397	4,056,180
		063 その他の積立金積立額(16)		2,399,000			2,399,000
		01 工賃変動積立金積立額		899,000			899,000
		02 施設整備等積立金積立額		1,500,000			1,500,000
	03 その他の積立金積立額						
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	△3,255,740	52,737,920	5,865,145	23,979,397	4,056,180	

資金収支内訳表

(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		社会福祉法人路 の会本部	ひのき工房	ほむら八王子	ふきのとう	ころぼっくる	合計	
事業活動による収入	165 就労支援事業収入		67,415,544	30,399,062	1,986,912		99,801,518	
	01 木工事業収入		4,628,030		1,780,699		6,408,729	
	02 農産品事業収入		403,604				403,604	
	03 リサイクル事業収入		5,298,775		105,395		5,404,170	
	04 仕入品販売事業収入		664,467		100,818		765,285	
	05 生活介護事業収入		348,700				348,700	
	06 精製事業収入		931,980				931,980	
	07 不燃物処理事業収入		52,350,840				52,350,840	
	08 発泡事業収入		712,248				712,248	
	09 食品容器製造事業収入			30,399,062			30,399,062	
	10 その他事業収入		199,900				199,900	
	11 園芸清掃事業収入		1,877,000				1,877,000	
	166 障害福祉サービス等事業収入		84,100,127	37,211,702	41,347,063	42,740,667	215,398,549	
	01 自立支援給付費収入		71,294,215	24,599,981	37,125,788		133,019,984	
	02 障害児施設給付費収入					22,353,087	22,353,087	
	03 利用者負担金収入		179,910	45,521	106,265	350,020	681,716	
	05 特定費用収入		1,725,180	1,337,600	200,000	133,200	3,395,980	
	06 その他の事業収入		20,900,822	11,228,600	3,915,000	19,904,360	55,948,782	
	172 経常経費寄附金収入	321,361	95,600		16,600	36,079	469,640	
	173 受取利息配当金収入	100	202	950	101	87	1,440	
	174 その他の収入	15,791	5,124,877	575,491	18,000	143,763	5,877,922	
02 利用者等外給食費収入		2,242,400	321,300			2,563,700		
03 雑収入	15,791	2,882,477	254,191	18,000	143,763	3,314,222		
事業活動収入計(1)		337,252	166,736,350	68,187,205	43,368,666	42,920,596	321,550,069	
支出	121 人件費支出	6,688,270	60,833,238	26,445,361	31,153,522	33,075,284	158,195,675	
	122 事業費支出		12,181,776	3,820,879	5,658,000	4,154,683	25,815,338	
	123 事務費支出	1,978,391	6,344,712	1,712,506	3,521,211	3,501,500	17,058,320	
	124 就労支援事業支出		66,307,388	30,451,393	1,989,452		98,748,233	
	128 支払利息支出			200,285		57,434	257,719	
	129 その他の支出		752,327			752,327	752,327	
	01 利用者等外給食費支出		752,327				752,327	
	事業活動支出計(2)		8,666,661	146,419,441	62,630,424	42,322,185	40,788,901	300,827,612
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△8,329,409	20,316,909	5,556,781	1,046,481	2,131,695	20,722,457
	施設整備等による収入	176 施設整備等補助金収入	19,370,000		2,000,000	2,100,000		23,470,000
02 設備整備等補助金収入				2,000,000	2,100,000		4,100,000	
03 設備資金借入金元金償還補助金収入		19,370,000					19,370,000	
178 設備資金借入金収入			1,336,800				1,336,800	
180 その他の施設整備等による収入						109,740	109,740	
01 保険金収入						109,740	109,740	
施設整備等収入計(4)		19,370,000	1,336,800	2,000,000	2,100,000	109,740	24,916,540	
支出		131 設備資金借入金元金償還支出	19,370,000	894,000			856,102	21,120,102
		132 固定資産取得支出		108,000	3,071,420	2,691,720		5,871,140
		06 車輦運搬器具取得支出			3,071,420	2,691,720		5,763,140
	07 器具及び備品取得支出		108,000				108,000	
	施設整備等支出計(5)		19,370,000	1,002,000	3,071,420	2,691,720	856,102	26,991,242
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)			334,800	△1,071,420	△591,720	△746,362	△2,074,702	
その他の活動による収入	182 長期運営資金借入金収入			155,316			155,316	
	185 積立資産取崩収入		2,399,000				2,399,000	
	03 工賃変動積立資産取崩収入		899,000				899,000	
	04 施設整備等積立資産取崩収入		1,500,000				1,500,000	
	195 その他の活動による収入		1,336,800		8,000		1,344,800	
	01 その他の活動による収入		1,336,800		8,000		1,344,800	
	その他の活動収入計(7)			3,735,800	155,316	8,000		3,899,116
支出	136 長期運営資金借入金元金償還支出			2,291,316			2,291,316	
	139 積立資産支出		4,798,000				4,798,000	
	03 工賃変動積立資産支出		1,798,000				1,798,000	
	04 施設整備等積立資産支出		3,000,000				3,000,000	
	149 その他の活動による支出		3,117,261		10,000	5,000	3,132,261	
	01 その他の活動による支出		3,117,261		10,000	5,000	3,132,261	
その他の活動支出計(8)			7,915,261	2,291,316	10,000	5,000	10,161,577	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)			△4,179,461	△2,076,000	△2,000	△5,000	△6,262,461	
予備費支出(10)								
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△8,329,409	16,472,248	2,409,361	452,761	1,380,333	12,385,294	
前期末支払資金残高(12)		2,635,868	22,392,123	7,983,791	12,585,820	2,883,614	48,491,216	
当期末支払資金残高(11)+(12)		△5,693,541	38,864,371	10,393,152	13,048,581	4,263,947	60,876,510	

貸借対照表内訳表

(平成29年3月31日現在)

(単位:円)

勘定科目	本部	ひのき工庫	ふきのとう	ほふふ八王子	ころほつくる	合計
001 流動資産	8,012,423	47,581,439	12,852,069	13,860,268	7,641,055	89,947,254
01 現金預金	7,645,354	29,992,285	7,823,443	6,674,539	934,452	53,070,073
03 事業未収金		13,066,431	5,021,141	4,091,294	6,666,393	28,845,259
04 未収金		4,382,723		3,088,035	40,210	7,510,968
15 立替金	367,069		7,485	6,400		380,954
26 仮払金		140,000				140,000
002 固定資産	62,546,801	104,560,164	92,366,030	3,040,093	25,595,049	229,118,091
001 基本財産	59,200,000	77,588,314	15,165,344		20,971,682	172,925,340
01 土地	59,200,000					59,200,000
02 建物		64,442,197	15,165,344		14,861,979	94,469,520
03 附属設備		13,146,117			6,109,703	19,255,820
002 その他の固定資産	3,346,801	26,971,850	17,200,686	3,049,993	4,623,361	55,192,691
01 土地		9,862,641	10,876,000			20,738,641
02 建物		312,317				312,317
04 構築物		1,668,889	3,525,078		2,376,282	7,570,249
05 機械及び装置		8,028,865	2			8,028,867
06 車輦運搬具		3,813,478	2,646,859	3,049,993	2,223,071	11,733,401
07 工具器具備品	1	886,660	152,747		8	1,039,416
11 ソフトウェア	397,800					397,800
18 退職給付引当資産	2,909,000					2,909,000
19 工賃変動積立資産		899,000				899,000
20 施設整備等積立資産		1,500,000				1,500,000
23 差入保証金	40,000				24,000	64,000
資産の部合計	70,559,224	152,141,603	45,218,099	16,910,261	33,236,098	318,065,285
011 流動負債	24,323,476	4,846,482	279,445	3,034,141	873,163	33,356,707
02 事業未払金		184,458	133,850			318,308
03 その他の未払金	4,740,700					4,740,700
06 1年以内返済予定設備資金借入金					070,160	070,160
07 1年以内返済予定長期運営資金借入金				2,076,000		2,076,000
13 1年以内支払予定長期未払金		1,336,800				1,336,800
14 未払費用	13,492,614	1,663,224	145,595	706,141		16,007,574
15 預り金	872,970	562,000		252,000		1,686,970
16 職員預り金	4,940,552					4,940,552
17 前受金	276,640	1,100,000				1,376,640
012 固定負債	2,909,000	2,227,300		5,502,000	1,570,111	12,208,411
01 設備資金借入金					1,570,111	1,570,111
02 長期運営資金借入金				5,502,000		5,502,000
08 退職給付引当金	2,909,000					2,909,000
09 長期未払金		2,227,300				2,227,300
負債の部合計	27,232,476	7,073,782	279,445	8,536,141	2,443,274	45,565,118
013 基本金	29,275,000	11,043,770	7,898,325			48,217,095
01 第一号基本金	29,275,000	11,043,770	7,898,325			48,217,095
014 国庫補助金等特別積立金	20,925,000	79,679,745	12,536,890		15,359,535	128,501,170
015 その他の積立金		2,399,000				2,399,000
01 工賃変動積立金		899,000				899,000
02 施設整備等積立金		1,500,000				1,500,000
016 次期繰越活動増減差額	△15,873,252	51,945,306	23,503,439	8,374,120	15,433,289	83,382,902
02 (うち当期活動増減差額)	△21,047,321	16,035,720	111,460	9,585,995	12,836,324	17,522,178
純資産の部合計	43,326,748	145,067,821	44,938,654	8,374,120	30,792,824	272,500,167
負債及び純資産の部合計	70,559,224	152,141,603	45,218,099	16,910,261	33,236,098	318,065,285

H29年度資金収支予算

(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		本部	ひのき工房	ふきのとう	ぼぶら八王子	ころぼっくる	合計
事業活動による収支	取	就労支援事業収入		80,703,600	2,000,000	30,792,872	113,496,472
	入	木工事業収入		4,800,000	1,800,000		6,600,000
		農産品事業収入		420,000			420,000
		リサイクル事業収入		5,200,000	80,000		5,280,000
		仕入品販売事業収入		500,000	120,000		620,000
		生活介護事業収入		100,000			100,000
		薪割事業収入		800,000			800,000
		不燃物処理事業収入		63,633,600			63,633,600
		食品容器製造事業収入				30,792,872	30,792,872
		その他事業収入		150,000			150,000
		霊園清掃事業収入		5,100,000			5,100,000
		障害福祉サービス等事業収入		89,584,200	39,610,000	44,744,240	42,903,177
		自立支援給付費収入		69,500,000	34,550,000	29,424,000	
		障害児施設給付費収入					25,216,829
		利用者負担金収入		170,000	120,000	111,600	252,000
		特定費用収入		1,800,000	200,000	1,961,520	126,500
		その他の事業収入		18,114,200	4,740,000	13,247,120	17,307,848
		経常経費寄附金収入	320,000	100,000	600,000		30,000
		受取利息配当金収入	86	200			
		その他の収入	15,000	4,860,000	10,000	581,500	90,000
		受入研修費収入		10,000			
		利用者等外給食費収入		2,050,000		330,000	
		雑収入	15,000	2,800,000	10,000	251,500	90,000
		事業活動収入計(1)	335,086	175,248,000	42,220,000	76,118,612	43,023,177
	支	人件費支出	8,945,000	63,952,000	27,730,300	29,047,100	36,144,000
出	事業費支出		13,080,000	5,808,000	4,096,800	3,567,000	
	事務費支出	1,942,000	6,890,000	3,595,000	2,164,280	3,053,620	
	就労支援事業支出		78,637,000	2,050,000	29,979,000		
	支払利息支出				206,400	71,000	
	事業活動支出計(2)	10,887,000	162,619,000	39,183,300	65,493,580	42,835,620	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△10,551,914	12,629,000	3,036,100	10,625,032	187,557	
施設整備等による収支	取	施設整備等補助金収入		2,000,000			2,000,000
	入	施設整備等寄附金収入				2,360,000	2,360,000
		設備資金借入金収入		2,670,000			2,670,000
		固定資産売却収入		1,000,000			1,000,000
		その他の固定資産売却収入		1,000,000			1,000,000
		施設整備等収入計(4)		5,670,000			2,360,000
	支	設備資金借入金元金償還支出				913,000	913,000
	出	固定資産取得支出		10,678,400		4,240,000	14,918,400
		建物取得支出		8,000,000		4,240,000	12,240,000
		車両運搬具取得支出		2,678,400			2,678,400
	施設整備等支出計(5)		10,678,400			5,153,000	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△5,008,400			△2,793,000	
その他の活動による収支	取	その他の活動による収入		1,870,800			1,870,800
	入	その他の活動収入計(7)		1,870,800			1,870,800
	支	長期運営資金借入金元金償還支出				2,076,000	2,076,000
	出	工賃変動積立資産支出		1,100,000			1,100,000
		その他の活動による支出		3,741,600			3,741,600
		その他の活動支出計(8)		4,841,600		2,076,000	6,917,600
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△2,970,800		△2,076,000	△5,046,800
	予備費支出(10)						
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△10,551,914	4,649,800	3,036,100	8,549,032	△2,605,443	
	前期末支払資金残高(12)	5,788,459	32,646,371	10,072,581	8,125,052	4,263,947	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	△4,783,455	37,296,171	13,108,681	16,674,084	1,658,504	

第15回 落の会、後援会総会開催

去る6月9日(金)「ひのき工房」において利用者、関係者、職員の方々の参加を得て、開催されました。提案した議事の①活動報告②決算報告③会計報告が承認され④役員⑤新年度の取組みと予算計画についても全会一致で承認されました。主な提案内容は次の通りです。

平成28年度の活動報告

総会において会則の一部変更を提案し、承認されました。

- ①後援会の事務所を落の会本部へ修正しました。
- ②支援施設に「ぼぷら八王子」を追加しました。
- ③事業の内容の文言を充実しました。
- *ひのき工房まつりやいちちょうまつりの販売に協力しました。
ぼぷら八王子にフロアホッケー大会出場に伴う「横断幕」を寄贈しました。
- *出前講座の開催をしました。
八王子市主催による「親、介護者亡き後障害者の生活について」を表題に特別講座を行いました。
- *慣例になりました落の会職員と後援会役員の食事会を開催しました。
- *定期役員会を毎月第一土曜日に実施しました。

「落の会后援会」平成28年度決算報告		
平成28年4月1日～平成29年3月31日		
科目	収入	摘要
会費	367,000	会員数 81名
雑収入	3,380	交流会からの寄附
繰越金	900,665	
計	1,271,045	
科目	支出	摘要
施設援助費	324,000	全労済団体保険一部負担金(ひのき工房、ふきのとう、ぼぷら八王子) 行事費(ころぼっくる ¥30,000円) フロアホッケー横断幕(ぼぷら八王子 ¥24,000円)
振込手数料	9,164	ゆうちょ銀行(振込料金、払出料金)
通信費	4	切手代(領収書送付)
会議費	18,374	総会
消耗品費	4,413	事務用品他
雑費	2,102	印字サービス
繰越金	912,988	
計	1,271,045	

「落の会后援会」平成29年度予算		
平成29年4月1日～平成30年3月31日		
科目	収入予算額	摘要
会費	400,000	会員数 81名
繰越金	912,988	
計	1,312,988	
科目	支出予算額	摘要
施設援助費	300,000	全労済団体保険一部負担金(ひのき工房、ふきのとう、ぼぷら八王子) 行事費(ころぼっくる ¥30,000円)
通信費	10,000	はがき、切手
会議費	20,000	総会
消耗品費	10,000	振込用紙印字サービス・事務用品
振込手数料	10,000	
予備費	60,000	
繰越金	902,988	
計	1,312,988	

平成29年度の取組みと予算

- *全労済保険の掛金の一部を含む施設援助金を支出する。
- *各施設で取組む行事に参加していきます。(ひのき工房まつりやいちちょうまつり等)
- *機関紙「落の会だより」の発行にあわせて、後援会の周知活動に努めます。
- *本部作成のホームページに後援会活動状況等の内容、充実を図ります。
- *落の会本部及び各施設の職員の方々と連携を強め、活動しやすい後援会組織にしていきます。
- *利用者、家族を対象に八王子市の障害施設の現状を把握(見学会を含む)できるような施策を考えていきたい。
- *落の会法人本部の5ヶ年計画にグループホーム等の立上げを今後の取組みとして要請していきたい。

多大なご支援ありがとうございます

平成28年度後援会会費を納入して頂き、心から厚く御礼申し上げます。
この会費は「ふきのとう」「ひのき工房」「ころぼっくる」「ぽぷら八王子」の四施設の活動に有効に使わせて頂きます。ご支援いただいた皆様のお名前を掲載させていただきます。

(敬称略・順不同)

期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

肥後伸一	山西美知子	阿達昌昭	百崎道子
百崎初之助	高橋和子	関裕子	大神田芳子
岩澤六夫	木崎真由美	平山クラブ	大森節子
平松廣	浜島渉	大場多喜男	志村久義
松本健	石川三郎	溝上裕夫	(株) 三和建设
本堂公子	原島佐奈江	小崎久雄	根本威
山本武志	三浦一郎	松本みどり	野中俊昌
山内松雄	西陸めぐみ	瀬沼友啓	瀬川和正
熊谷弘之	園田均	下楠菌アヤ子	前島みちこ
飯塚美代子	山崎具子	関口大樹	金子八千代
南広子	高橋巖	山本保二	吉川忠克
茂木寿美	中村美佐子	佐藤修	佐藤大介
本山瑞希	佐藤一輝	佐藤一平	(株) 溝口祭典
内藤美千代	図師学	荒井盛雄	平野輝男
大木啓史	小関英規	上巳徹也	大日向宏
曾根崎和夫	柿下豊一	柿下良治	多摩DIYクラブ
嶋田玲子	喜作	井上睦子	(株) 西東京事務機器
赤羽祐介	遠藤秀男	水越英人	永井和
山田政行	伊藤要子	加藤スミコ	(有) トダソウギョウ
浜口龍太	松垣百合子		

「落の会 後援会」への会費納入のお願い
 年会費 一口 1,000円 1口以上
 お振込み先/郵便口座 0150-8-194227
 口座加入者 落の会 後援会
 (振込用紙が紛失した場合は上記にお願いします)

平成29年度の役員は次の通りです。宜しく申し上げます。

会長	山本 武志	副会長	佐藤 悦子
会計	平松 廣	事務局	遠藤 秀男
幹事	木崎 真由美	百崎 道子	柴山 弘樹
	木村 茂樹	石川 三郎	
会計監査	前田 和江	大神田 芳子	

笹野さん永い間ありがとうございました。

平成2年ふきのとうが、東浅川のけやき通りでうぶ声をあげてから、私も地元三田町で近所付き合いをさせていただいていた笹野さんにはずっとお世話になってきました。

資金稼ぎのため年に何回もやっていた「ふきのとうバザー」には、いつも沢山協力してもらいました。平成13年社会福祉法人の認可を受けた時点から法人理事としてお世話になり、ふきのとうの新施設建設、その後のころぼっくるの建設には土地の提供など本当にお世話になりました。その後もずっと評議員を引き受けて下さり、その報酬も全て寄附していただいております。

昨年4月突然、畑で倒れ入院、もうすぐ退院と聞いておりましたが、急変し帰らぬ人となりました。笹野さんなしには露の会の基盤作りは出来なかったと思います。

笹野園をたたまれるとき植木も沢山いただきました。特にひのき1丁の玄関前の太いぎくろは、露の会があるかぎり笹野さんの記念樹として生き続け私共の活動を見守ってくれると思います。本当に有難うございました。

魚住さん子供食堂を見守って下さい

笹野さんの協力で、ふきのとうころぼっくるを建て、最後に第2ふきのとう(ひのき工房)をと、元八丁子二丁目に川地を確保しました。しかし、知り合い一人もないよそ者には、住民も町会も同意をさせていただかず困り果てていました。一度“お流れ”になってから「障害者の施設にとどまらず、地域住民に開かれた、相互に協力し合える施設を作るのだ」という私共の訴えを魚住さんに理解してもらった結果、町会や住民の皆さんに声をかけていただき、再三の住民説明会で建設の同意をもらうことが出来ました。

ひのき工房を開所して、すぐに集団回収、城山小6年生の木工教室、サタデースクール等魚住さんが橋渡しをされました。露の会の評議員、のちに理事も引き受けてもらい、町会、小中学校、防災訓練、夏祭り住民との連携、交流が定着してきました。(今年2月13日急逝され、4月23日ひのき工房で町会とともに“徳ぶ会”を行いました)魚住さんは、以前より地域の子供達を皆なで育てていこうと努力されていました。地域の皆さんが協力し合って“子供食堂”を実現することが、この地にひのき工房を作らせていただいた魚住さんや地域の皆さんに対するお返しだと思います。どうか暖かく見守って下さい。

露の会 新役員名簿

H29年度から施行された社会福祉法人改革により、新役員が選任されましたのでご報告します。(敬称は略させていただきます)

理事 : 岩澤 六夫 (理事長)
 関 裕子 寺島 佳代子 浜口 龍太
 秦 淳一郎 斎藤 清彦
監事 : 丹野 章子 脇田 泰行
評議員: 山本 誠一 進藤 丕 小林 清子 田中 海香
 秋山 健一 山田 政行
評議員選任・解任委員: 井上 睦子 山田 義博 脇田 泰行
第三者委員: 井上 睦子 山田 義博

また、新しい仕組みとして、運営協議会を設けることになり、利用者及び御家族、職員、地域の関係者の皆様等に参加いただき、法人や施設の活動について御説明する場を設けることにより、より幅広く皆様方の御意見をいただき、法人、施設運営に反映させてまいります。

ご寄附御礼 ※期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日
(敬称及び寄附金の金額については割愛させていただきます)

◆ころぼっくる運営資金として 高原るみ子、後援会

◆ふきのとう運営資金として 秋山健一、松岡千秋

◆ひのき工房運営資金として

魚住博隆、玉井良侍、榎本丈夫、高橋和子、杉寄哲夫、(有) 鳶高橋工業、
ミニストップ、元八王子二丁目町会、松竹町会、荒井盛雄、山本保仁、中間達雄

◆露の会運営資金として 魚住博隆、平松廣、丹野章子、後援会

編集後記 (本部 渡辺)

昨年は、社会福祉法人改革により、評議員会が決議機関になり、更なる情報公開を義務付けられるなど、大幅な仕組みの改革がなされた1年でした。皆様に「露の会」の活動報告を、年1度の機関紙に集約してご報告すると共に、ホームページによるタイムリーな情報発信等できるように進めて参りますので、ご利用者のご家族様、ご支援を頂いている後援会会員の皆様、業務を受託させていただいている八王子市様、株式会社エフピコ様、更には、地域の皆様の引き続き御支援、御意見をいただけますようよろしくお願い致します。

☆HPにも詳細な資料を掲載しておりますのでご覧ください。

TEL 042-667-2158 FAX 042-667-2168 e-mail fukinokaihonbu@yahoo.co.jp

露の会 HP : <http://fukinokai-swc.jimdo.com>

※管理不十分で送付された皆様には誠に申し訳ございません。お詫びいたします。

ひのき工房



「20種類の無垢材が楽しめる積み木」
なら、ほう、くす、けやき、さくら、
いちょう、やまざくら、まつ、
かつら、きり、ひば、もみじ
ひのき、ばいん、
えんじゅ…

色合いや木目、香り、肌ざわり… それぞれ
違う国産の木を中心に集め、全ピースに木の名前を入れました。
お子様の成長とともに、五感で楽しみながら、
長く遊んでいただける知育玩具です。

発行人
郵便番号一五七一〇〇七二
東京都世田谷区祖師谷三丁目一七二〇二
障害者団体定期刊行物協会
社会福祉法人 蒔の会

定価一〇〇円
(会費に含まれます)

ふきのとう

はち★ベビギフト製品に採用



八王子市が、保健師さんと面談した妊婦さんに
贈られる製品のひとつとして採用されています。